

# 「遊休農地の再生と子供たちの西山大豆づくり」

## 西山地域遊休農地再生の活動

西山地域は、長野市中心部の西方に位置し、古くから「西山大豆」の産地として、知られています。近年は、地域に遊休農地が増加する中で、農業委員を中心にする関係機関が、クボタeプロジェクトと連携して遊休農地の再生活動を行いました。

長野市中条の中心に位置する幼稚園跡地の裏の灌木の伐採と草刈、耕運が行われ、子供たちが豆まきできる畑となりました。



## 小中高校生の西山大豆づくり

再生された畑に、6月13日と14日に長野市立中条小学校・中学校、長野西高校中条校の児童・生徒が集合し、地域の農家に指導いただきながら、西山大豆の播種作業を行いました。

手播きと播種機を使い、みんな笑顔で播種作業が行われ、農業や地域環境について実体験の中で、学ぶことができたようです。

この後、7月には土寄せと草取り、11月には、コンバイン収穫の見学とともに、手で刈って、たたき棒を使った脱穀作業や、唐蓑作業も体験しました。

収穫された西山大豆は、小学生が「きなこ」をつくり、給食時に「きなこ揚げパン」として食べたり、豆腐の加工を体験したり、さらには中条道の駅での販売体験まで行いました。

遊休農地が再生され、子供たちの地域や農業や食などの理解につながるとともに、学校の垣根を越えた世代間交流にもつながる有意義な取組となりました。



【報告：長野農業改良普及センター】